



令和6年1月26日
統合幕僚監部

(お知らせ)

ロシア海軍艦艇の動向について

令和6年1月26日（金）正午頃、海上自衛隊は、西表島（沖縄県）の北約70kmの海域において、同海域を南西進するロシア海軍スラバ級ミサイル巡洋艦1隻（艦番号「011」）を確認した。

その後、当該艦艇が与那国島（沖縄県）と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行したことを確認した。

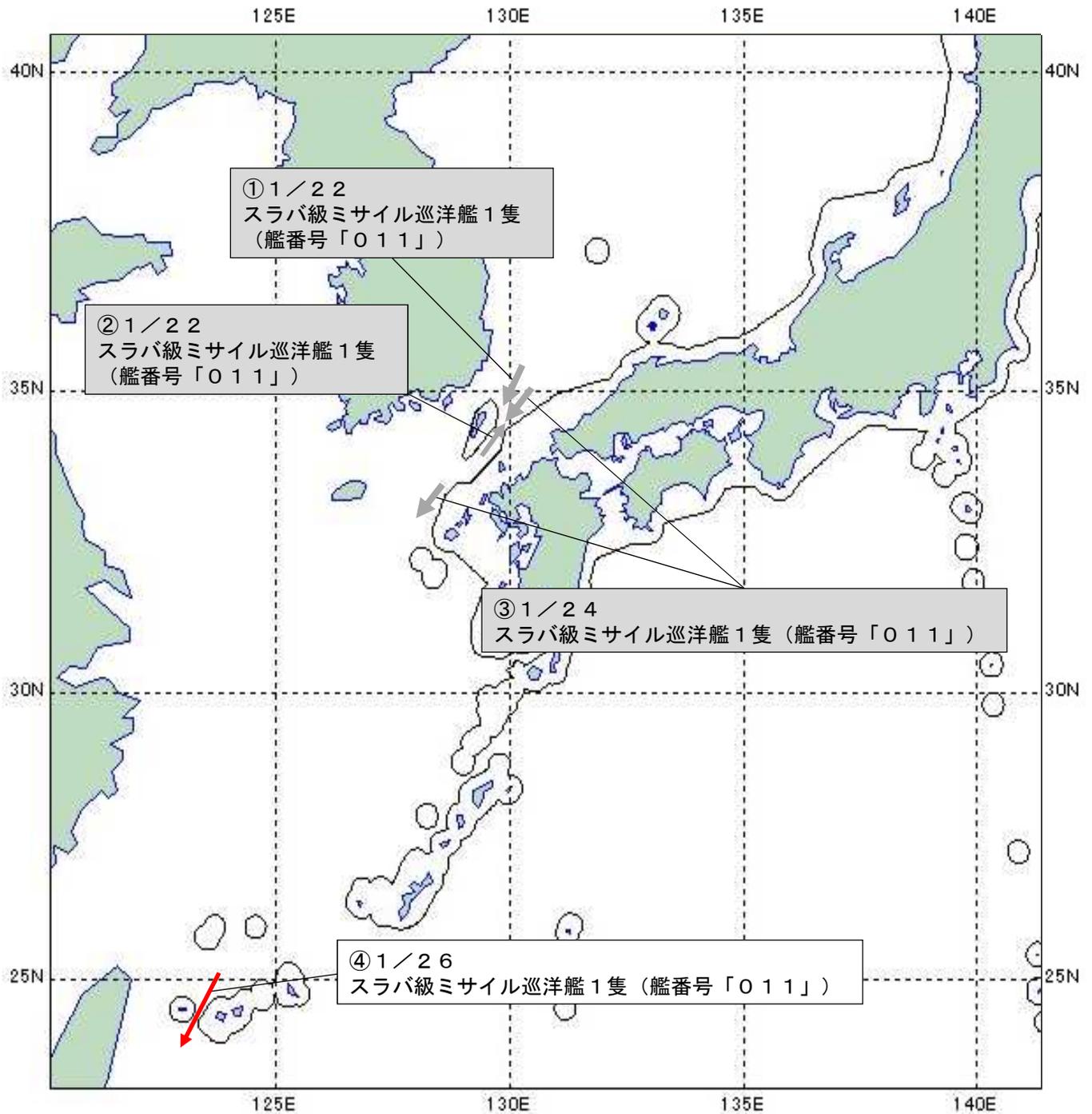
なお、当該艦艇は22日（月）に対馬海峡を南西進した後、対馬の南東約30kmの海域において反転し、対馬海峡を北東進し、24日（水）に対馬海峡を南西進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第5航空群所属「P-3C」（那覇）により、警戒監視・情報収集を行った。

スラバ級ミサイル巡洋艦 (艦番号「011」)



行動概要



-  : ロシア海軍艦艇
-  : 今回公表
-  : 既公表